

高次脳機能障害に特化したパンフレットを作成

～当事者の方が描いた挿し絵でわかりやすく説明しています～

高次脳機能障害は、脳の病気や交通事故等のケガにより、脳が損傷を受けた後に起こる障害です。

記憶障害や注意障害など、日常生活を送る上で困難を生じやすい一方で、外見からはわかりにくく、また本人にも自覚がないことも多いため、「見えない障害」とも言われています。

本パンフレットは、高次脳機能障害の症状や対応について、具体的な例や挿し絵（※）を用いて、高次脳機能障害に精通していない方にも理解を図ることを目的として作成しました。

※パンフレット内の挿し絵は、高次脳機能障害当事者の方が描いています。

1 発行日

令和4年7月5日（火）

2 配布場所

高齢・障害者福祉課（市役所本館4階）

各高齢・障害者相談課（緑、津久井、中央、南）

各福祉相談センター（城山、相模湖、藤野）

（市HPにも掲載：<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/fukushi/1025677.html>）

3 構成（目次）

- （1）事故や病気の後、困っていることはありませんか？
- （2）高次脳機能障害ってなんですか？
- （3）高次脳機能障害の症状と対応を教えてください
- （4）これからどうやって生活していくのがよいですか？
- （5）悩んでないで相談しませんか？（相談窓口の案内）



問合せ先

高齢・障害者福祉課

直通電話 042-707-7055